



注意事項：

1. 答案依序書寫於答案卷上，不必抄題。須標題號。
2. 答案卷不可書寫任何可辨別個人姓名或特殊標記，違者不予計算。
3. 請於試題紙上填寫准考證號碼，繳卷時「試題」、「答案卷」一併繳回。

共四頁

一、下線部分の読み方(1-10)をつけなさい。10%

江戸幕府を倒した新政府は五箇条の誓文(1)を発し、政治方針を決定した。同時に民衆に対して五榜の掲示(2)を出し、幕府以来の統制を継承した。また、政体書(3)により、政府の組織を整備し、太政官制を復活させた。1869年、政府は中央集権体制(4)を確立するために版籍奉還(5)を行い、諸藩主の土地と人民を天皇(6)に返還させ、1871年には廃藩置県(7)を断行し、全国の諸藩を廃して府県に統一した。政府は徴兵告諭(8)に基づき、1873年に国民皆兵(9)を方針とする徴兵令を交付した。しかし、1873~74年にかけて、農民の間で徴兵反対の血税一揆(10)が起こった。

二、語句。

(一) 外来語を書きなさい。10%

1. _____ (technology) とは、科学技術を利用する方法論の体系をいう。
2. お盆の前後は故郷に滞省する人の _____ (U turn) で道路が混みあう。
3. _____ (globalization) は、企業活動が地球的規模で行われるようになった。
4. 一律の料金は設けておらず、 _____ (case by case) でその都度、料金を設定する。
5. 家電製品の無料 _____ (after care) は一年間だけである。
6. 人材育成のやり方とその _____ (case study) について教えていただきたいと思う。
7. あの会社は社長の _____ (one man) 体制で有名だ。
8. テレホンカードは、現金先払い方式の _____ (prepaid card) 一種だ。
9. 仕事を探すときに _____ (résumé) が必要だ。
10. 国際社会に欠かせないのは円滑な _____ (communication) だ。

(二) 次の英語を日本語に直しなさい。漢字と読み方をつけなさい。10%

- | | | | | |
|------------|-----------------------|-------------|------------|-------------|
| 1. tsunami | 2. hara-kiri(suicide) | 3. kamikaze | 4. sashimi | 5. manga |
| 6. ninja | 7. sumo(wrestling) | 8. kimono | 9. shogun | 10. samurai |

三、下の枠から適当な言葉を選んで、次の()に慣用句を適当な形にしてから入れなさい。15%

1. レストランの店長はいつも客席に()いる。
2. 弟の成績がクラスで一番になって、勉強を教えてやった私も()。
3. そんな大切なことを山田さんに話したんですか。あのひとは()から、みんなに話していますよ。
4. 中村さんは朝から何も食べていないといていたが、ご飯を5杯も食べるなんて、()。
5. 久しぶりのごちそうに、みんな()。
6. ()ほど車が欲しいが、お金がないから買えない。
7. 家族は、アメリカで仕事をしている兄の帰りを()待っている。
8. あの子は赤ん坊の時からよく病気をして、()大変だった。
9. 私は、小さい子供が母親を看病する映画を見て、()。

10.彼女にプロポーズしたら、「ええ」とは言わなかったが、あの様子では、() そうだ。

脈がある、足が出る、息が切れる、手がかかる、手を抜く、手に汗を握る、首を長くする、歯が立たない、のどから手が出る、舌鼓を打つ、鼻が高い、口をそろえる、口を出す、口が軽い、開いた口がふさがらない、眼を細くする、気を配る、胸がいっぱいになる、

四、次の文章を読んで、150語程度で要約しなさい。15%

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」と言われる。そうであるならば、天から人が生ずる以上、万人が万人みんな同じ身分のはずで、生まれながらにして貴い賤しい（身分が高い低い）といった差別はないはずである。また、人は、万物の霊長たる人間の身と心の働きをもって、天地の間にある万物を活用して衣食住の必要を満たし、人々がお互いに妨げをしないで、各々安心してこの世を自由自在に渡ることができるはずである。しかし、今、広くこの人間社会を見渡してみると、賢い人もいれば、愚かな人もいるし、貧しい人もいれば、お金もちもいるし、生まれながらにして身分の高い人（貴い人）もいれば、人に使われる下人という人もいる。このように同じはずの人の間に雲泥の差があるように思われるのはどうしてだろうか。だが、このことは実はとても簡単なことである。昔の教えに、人が学ばなければ智は無いし、智が無いということは愚かということだ、とある。ならば、賢人と愚人との違いは、学ぶのか学ばないのかという理由で生まれてくるのである。また、世の中には、難しい仕事もあれば、簡単な仕事もある。その難しい方の仕事をする人を身分のある人と名付け、簡単な方の仕事をする人を身分の軽い人と言う。心を使って心配をするような仕事は難しいし、手足を使うような作業は簡単である。この故に、医者、学者、政府の役人、大きな商売をする人、多くの小作人をもつ大農家などは、身分も重く貴い人というべきである。

そして、身分が重くて貴ければ、その人の家は自ら金持ちとなり、一般庶民からすると遠く及ばない存在のように思える。しかし、その根本を考えるならば、ただ単に学問の力があるかないかという理由だけでそういった違いが生まれているのであって、このことは天が定めた絶対の約束ごとではない。例えば、天は富貴をその人に直接与えるのではなくて、その人の働きの方に与えるということわざがある。ならば、前にも述べたように、人には生まれながらにして貴賤富貴といった身分の違いがあるわけではない。ただ、学問に励んで物事を良く知る人は貴人となり金持ちとなり、学問の無い人は貧乏となり使われるだけの人になるのである。（福沢諭吉 『学問のすすめ』 現代語訳 初編 第一段落）

五、下線の部分を中国語で説明しなさい。10%

1. ボランティアセミナーの会場は中正ビルの3613となっております。
2. 試験会場には緊張した雰囲気が漂っていた。
3. そんなに固くならないで、肩の力を抜いてリラックスしてください。
4. 地震で部屋に閉じこめられてパニックに陥ったことがある。
5. 警察からの知らせに彼女は大変なショックを受け、顔が真っ青になった。

六、読解 30%：テレビを見る時間・見ない時間

「古くて新しいテーマ」という表現がある。一見矛盾しているようだが、それが意味しているのは、古くからあるテーマだが、これまでに調査、研究、議論がし尽くされたわけではなく、今でも十分にそれをする価値があるということである。そんなテーマの一つに「テレビが青少年に与える影響」がある。

テレビの影響というと、まず第一に暴力シーンなどの言動が視聴者に与える悪影響を考えるだろう。親からすれば、確かに子供には見せたくない番組があるし、不快な気持ちにさせるシーンも少なくない。何らかの規制が必要であるという声には耳を傾ける必要がある。しかし、規制は「表現の自由」にかかわってくるだけに、感情論だけで安易に決め付けるわけにはいかない。調査して得られたデータに基づいて議論されるべきだ。ところが、客観的な判断材料となるべき調査・研究が日本にはなかった。テレビが普及して久しいが、過去、日本で行われたのは小規模で、しかもその調査時点でのテレビの視聴と青少年の行動との相関関係の分析のみで

あった。ある期間にわたってテレビを視聴することが、その後どのような影響をもたらすのかという因果関係の調査には手がつけられていなかったのである。大がかりな追跡調査にはそれなりの費用がかかるためだ。

しかし、さまざまな議論の末、2001年にNHKと民放各社が作る「放送と青少年に関する委員会」が、ようやくその重い腰を上げた。小学5年生が中学2年になるまでの4年間を追跡調査し、テレビを中心としたメディアがどのような影響を与えるのか、その因果関係を調べることになったのである。

一方、アメリカはメディア先進国だけあって、1950年代からやく40年間にわたり大小あわせて3500以上にも及ぶ調査が行われた。追跡調査で得られたデータを分析した結果、テレビの暴力シーンと青少年の問題行動との間には、弱いけれども、ある一定の間が関係があるという判断が下されている。文化、社会習慣が違う他国の調査結果を自国にそのまま当てはめることには無理があるだろうが、参考にはなる。

最近の調査では、コロンビア大とニューヨーク州立精神医科学研究所が10代の子供に対して行った追跡調査がある。研究グループはこの結果を踏まえて、青少年に1時間以上テレビを見せるべきではないと結論を出している。

また、スタンフォード大学では、テレビを長時間見ることが子供の暴力的な行動につながるなら、逆にテレビを見せないことで、そのような行動を減らせるのではないかと考え、小学校3、4年生、200人あまりを対象に次のような実験をした。

二つの小学校の一方の児童には何も指導せずに、そのまま好きにテレビやビデオを見せ、テレビゲームもやらせた。もう一方の学校の児童に対しては、6ヶ月にわたって両親も交えて特別授業の時間を18回もつけ、この三つの時間を減らすように指導した。実験開始前は、子供たちは平均して、一週間にテレビ15時間、ビデオ5時間、ゲームは3時間を費やしていた。実験終了時には、指導したグループの子供たちは、それぞれの時間が約3分の2に減っていた。そして、両者の行動や態度を比較調査した結果、指導されたグループはそうでないグループに比べて、暴力的行動、子供による攻撃の数が減少したという。

このようにテレビが青少年に与える影響について肯定的な実験結果が報告される一方で、暴力的、攻撃的な行動はさまざまな要因が複雑に絡んでいると、慎重な態度を取る学者もいる。テレビの視聴との関係はあくまでも「弱い因果関係」にすぎないということだ。上の調査を担当したスタンフォード大の教授自身もそれに関して興味深いコメントを寄せている。「テレビの影響は、暴力的な内容というよりも、むしろ外を走り回って、うつぶんを晴らしたり、自分で考えごとをしたり、友達や親と話す時間を奪ってしまう『視聴時間』に関係がある」というのだ。要するに、テレビを見る時間の中身よりも、その時間によって奪われてしまう貴重な体験の時間のほうが問題だということだ。

日本でも大規模な追跡調査が始まり、その成果が大いに期待される。これをきっかけにテレビが与える影響について国民の関心も高まることだろうが、それと同時にテレビを見ない時の過ごし方についても反省してみてもどうだろうか。テレビを見なくなった分、塾に通う時間や一人きりでテレビゲームをしたりする時間が増えるのと、生身の人間と接して話す時間や自然の中で遊ぶ時間が増えるのとでは、やはり違うがあるのではないか。2002年4月より公立の小中学校では週完全五日制(土・日が完全に休み)になった。新しく生まれた「ゆとり」をどう使うのか。家族そろって考えてみるいい機会である。

(一)単語一発音 10%

- | | | | |
|---------------|----------------|---------------|--------------|
| 1. 減らせる _____ | 2. 尽くす _____ | 3. 傾ける _____ | 4. 基づく _____ |
| 5. 費やす _____ | 6. 視聴時間 _____ | 7. 因果関係 _____ | 8. 矛盾 _____ |
| 9. 大規模 _____ | 10. 追跡調査 _____ | | |

(二)正しい(O)、正しくない(X)をしてください。5%

- () 1. テレビが青少年に与える影響とは古くて新しいテーマのひとつである。
- () 2. アメリカでは1950年代からやく40年間にわたり、4500以上にも及ぶ調査が行われた。
- () 3. コロンビア大とニューヨーク州立精神医科学研究所の調査では、青少年に1時間以上テレビを見せる

べきではないという結論が出た。

() 4. スタントフォード大とコロンビア大との調査の目的はほぼ同じだ。

() 5. 筆者は土・日が完全に休みになって、時間が増えると、生身の人間と接して話す時間や自然の中で遊ぶ時間が増えることが大切だと思っている。

(三)以下の質問に答えなさい。15%

Q1. 「感情論」というのは、ここでは具体的にはどんなことですか。3%

Q2. 「それなりの費用」とは、どの程度のものを指しますか。3%

Q3. 「慎重な態度」とは、何に対して慎重だということですか。3%

Q4. アメリカでの調査が二つ紹介されています。それぞれの調査の目的は何ですか、説明してください。6%
